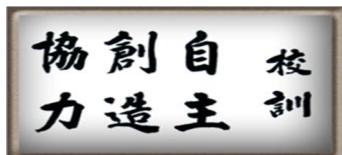




荒尾市立荒尾第三中学校 学校だより



つながる

R7. 10. 16(木) №14 立野 健一

10/14後期スタート～さらに伸びていく三中～

前期終業式では、私と樺島先生の話の後に、1年4組の宇都宮佳純さん、2年5組の木原夢乃さん、3年2組の中ノ森美凜さんの3名が、前期をしっかりと振り返って、さらに後期に頑張っていきたいことを発表してくれました。3名ともに落ち着いた発表態度で内容も素晴らしい、会場全員が聞き入っていました。宇都宮さん、木原さん、中ノ森さん、前期をしっかりと締めくくってくれて、本当にありがとうございました。その後、校歌斉唱があったのですが…残念ながら「素晴らしい！」と言えるほどの声量はありませんでした。生徒指導担当の相澤先生からは「声を出すことの大切さ」について、熱く語っていただきました。総じて、いい終業式ができたと思います。

その前期終業式から、わずか3日しかたっていませんでしたが、10月14日（月）に後期がスタートしました。私から2分ほど話をしたあとに、今回は久家教頭先生からお話をありました。

- ・目標を持つことは日々の生活を送るうえでの、モチベーションに繋がっていく。
- ・人は日々少しずつだけれども成長していく。⇒周りから評価されたとき、「成長」を実感する。
- ・日々成長していくために具体的に何をすべきか？⇒キーワード「素直な努力」
- ・人は一日に約3500回、判断・決断をする。その時に「簡単な道・楽な道」を選ぶのではなく、「より厳しい道・自分のためになる道・誰かのためになる道」を選んでほしい。
- ・その「より厳しい道」を毎日確認する一つの場が、正門での登校の様子の見守り。大きな声で挨拶ができているか、自分から挨拶ができているか、時間を守っているか…など。それができれば、自然と朝から前向きな気持ちになれる。
- ・行動に移す速さが、本人のやる気の大きさになる。本人の真剣度の表れでもある。大きく成長する瞬間である。その意識がみんなの運命を変えていく。

ちょうどいいくらいの時間で、さらに熱く語られたので、みんな食い入るように聞いていました。色々な先生方から話をもらうと、いろんな角度から、いろんな切り口から話を聞いていただけるので、仮に私と同じ内容だったとしても、きっと新鮮で、ずっと心に沁みていくのではないかと感じています。終業式での樺島先生の話、今回の教頭先生の話、どうもありがとうございました。

そして…校歌斉唱。前回、執行部は全校生徒の前に立って歌いましたが、今回はステージに上がって歌ってくれました。歌う前には杉本生徒会長から、合唱コンクールに向けての話や声を出すことの大切さについて、語り掛ける時間があり、その後で全員で1番のみ斉唱しました。今回は…前回よりも声量UP…していました！が、まだまだ出せると思います。今後もみんなのよくなる姿を見守りたいと思います。

最後に全員黙想して、一クラスずつ退場しましたが、ほとんど私語もなく、静かな雰囲気のまま教室へ移動を開始しました。この雰囲気を創り出してくれたのは生活委員長・副委員長の吉村さん、乙須くんのおかげです。しかし、まだまだ一人一人「伸びていく」チャンスはあります。一人一人が意識を変えて、新たな目標に向かって、素直な努力を重ねること。これを後期始業式で確認しました。

10月17日(金)合唱コンクールに向けて



これは1年生のプレ合唱コンクールの様子です（2年生・3年生も行われましたが、写真を撮っていました）。どの学年も残りわずかの練習時間を無駄にせずに頑張っています。

私も担任のころは合唱コンクールに燃えていました。三中で担任したあるクラス。みんなで必死になって練習に打ち込んだのですが、残念ながら金賞を取れませんでした。さて、教室で待っている生徒たちにどんな話をしようか…色々考えながら教室に入ると、いつも私から注意されていた元気いっぱいの男子生徒が「先生、円陣を組んでいいですか？」と尋ねてきました。私が「いいよ。」という前に、矢継ぎ早に「色々と言いたいことがあるので。」「肩を組んで円陣組んで、色々話していいですか。」「もう一回歌っていいですか。」とのこと。もちろんOKしました。円陣を組んで、最初に話したのはその元気のいい生徒。内容は…ここには載せられません！審査内容についてだったので…。その後は一人一人、自分の思いを話してくれましたが、そのなかで一人、「確かにこんな結果になったけど、みんなで金賞目指して頑張ってきた毎日はとっても楽しかった！」と話してくれました。みんなとてもいい表情で聞いていて、あえて担任が話をしなくともいいかなと思いました。そのあと、もう1回合唱曲を歌いました。歌い終わった後は全員で拍手！感動したし、なんとも温かい雰囲気が流れていきました。そしてその日の日記。ある生徒はこんなことを書いていました。

「みんなで金賞目指して真剣に練習に取り組んで、凄く楽しかった。金賞取れなくて悔しかったけれど、その後の帰りの会もすごく感動しました。私はこのクラスで本当に良かったなと思ったし、このクラスが大好きです。もう合唱の練習はないけれど、毎日学校に行くのが楽しみで仕方ありません。」

体育大会・合唱コンクールなどの学校行事は、真剣に取り組めば取り組むほど、形には残らないけれど、大きな何かを生徒たちに与えてくれます。それは「学級の温かい雰囲気」「一人一人の心の居場所」です。上の日記を書いた生徒にとっては、本当に楽しい場所になっていたようで、3月には「クラス替えをしたくない！」と日記に書いたこともありました。他の生徒がこの生徒と同じくらい、このクラスが大好きだったかはわかりません。ただ、合唱コンクール以降はとても温かい、穏やかな雰囲気が流れていたことだけは間違ひありません。あなたたちのクラスもきっとそれくらい、いい取り組みができたはずです。

保護者の皆様。今回、各学年・各クラス、本当に一生懸命練習しています。合唱の完成度に多少の差はあるかもしれません。それよりも、その頑張りと、生徒の素晴らしい表情を、ぜひご観覧に来られてください。そして結果はどうであれ、生徒達の頑張りに大きな拍手をお願いいたします。

生徒の皆さん。明日は、今まで練習してきた成果をすべて出し切ってください。心を一つにして、学級の団結力を歌と伴奏と指揮で表現してください。そして、終わった後に「楽しかった！」「全力を出し切れた！」「このクラスでよかった！」という思いを味わってください！

